

コミュニティ・プロジェクト実習
(前期開講：通常土曜日3限～5限 13:10～18:00)

<授業のねらいと内容>

エコ・テクノロジー特論において学んだ内容を実践的に修得することをねらいとする。実習では、主にサステナブル・デザインに必要な自然エネルギー利用技術、パッシブソーラーを取り入れた木造建築技法などについて課題を抽出し、その解決能力を養う。

(1) 自然エネルギー利用技術

・太陽光発電システムおよびバイオ燃料発電システムに関するデータ収集と解析技術を修得する。

(2) 自然素材利用技術

・地域の特性を踏まえた様々な技術の中から、特に土を積み上げる版築構造や木工技術等の実習を通じて、その身近な環境問題解決に向けた技術の一端を習得する。

<コアスタッフ>山根浩二、河崎澄、松岡拓公雄、高田豊文、鶴飼修、森川稔

<授業計画>

4/12 第1回 ガイダンス 山根浩二・河崎澄・松岡拓公雄・高田豊文

エネルギー系(A、B班に別れ実施。下記授業計画はA班の場合*)

4/19 第2回	太陽光発電のコンピュータシミュレーションによる実習	河崎 澄
4/26 第3回	太陽光発電系統連系の実習	河崎 澄
5/10 第4回	コンピュータ上での自動計測・データ分析	河崎 澄
5/17 第5回	バイオ燃料ビジネスモデル見学(豊郷町・油藤商事)	山根浩二
5/24 第6回	バイオ燃料の原料と燃料製造実習	山根浩二
5/31 第7回	バイオ燃料発電機の特性的実習	山根浩二

木工系

6/7 第8回	版築構造の実習	松岡拓公雄・高田豊文・中西茂行(株式会社雄夢代表)
6/14 第9回	木工技術実習(県産材の活用研究)	北嶋祥浩(株式会社アピエルタ建築・都市代表取締役)
6/21 第10回	木工技術実習(県産材の活用研究)	畑中久美子(畑中久美子デザイン室代表)
6/28 第11回	木造構築物、伝統工法の現場視察と検証	
7/5 第12回	木造建築の耐震性の実験検証	
7/12 第13回	版築構造の実習	
7/19 第14回	版築構造の実習	
7/26 第15回	版築構造の実習	
8/2 第16回	版築構造の実習(完成)	

<成績評価>

成績はエネルギー系50点+木工系50点=合計100点満点で評価し、60点以上を合格とする。なお、16回のうち、4回以上欠席した者には単位を認めない。エネルギー系は出席点(50%)+2テーマのレポート点(50%)で評価する。なお、木工系については出席状況により評価する。

<テキスト、指定図書、参考書>

講義内容に応じて、適宜資料を提示、配布する。

* 5月上旬・6月28日は公開特別講義のため、午前開催を予定。